

授業科目	中級英文講読				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO11606E		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP1-3			
担当教員	浅田 壽男							
授業概要	SF作家として著名なアイザック・アシモフは、米国ボストン大学医学部の教授でもありましたが、生化学、物理、数学、天文学から言語学に至るまで、科学のあらゆる分野に造詣が深く、その博識をもって作家の道を選び、生涯で500点を超える著作を残しました。この授業では英単語の由来を語ったエッセイ Words from History を精読して、英語力の涵養を目指すと共に、英単語の裏に隠された文化や歴史を学び、知的好奇心を育てていただきたいと思います。なお、使用するテキストは年間30回の授業を前提に編集されたものでもあり、前半は前期の「初級英文講読」で取り上げ、後期の本科目では後半を取り上げます。							
学生が達成すべき行動目標	このエッセイは、決して難解な英文ではありませんから、まず、辞書を引きながらでも自力で英文を読み、内容が大まかに理解できること。辞書を引かなくても英文が読めることは一見、英語力の高さを示すように思われますが、例えば私たちが日本語の文献を読む時に辞書を引くように、正確に英文を読むためには、いわずに何度でも辞書を引くことを強くお勧めします。次に、英文が読解できても、内容の真の理解にはそれぞれの背景知識がなければならぬので、図書館の文献やネット情報を最大限に利用して、必要な背景知識を自ら入手すること。この2点が求められます。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	35	15					50	
知識・理解 (DP1-3)	35	15					50	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
英文読解に当たって、必要にして十分な英語力を持つこと。辞書を引くことをいわずに、正確に英文が読解でき、内容を楽しめること。英文のテーマが自分にとってなじみのない分野であっても、内容理解に必要な最小限の情報や背景知識を自力で入手できること。これら3点は、英文読解に求められる理想です。				辞書を用いながら、本テキストのエッセイを独力で読み、少なくとも要旨を把握できる。具体的な目安として、英検準2級～2級、あるいはTOEIC400～450点程度の語彙、文法、読解力を持ち、辞書を用いれば一般的な新聞、雑誌、テレビ、ネット上の英文情報などメディアの英文、さらには英語の小説類を読み進めて理解できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	オリエンテーション。テキストの紹介。授業の進め方と受講上のポイントなど。	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
2	Gentleman	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
3	Guerrilla	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
4	Humorous	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
5	Lynch	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
6	Marathon	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
7	第1回復習テストと著者アシモフについて、and/or 授業進度の調節	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
8	Mile	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
9	Proletariat	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
10	Romantic	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
11	Sabotage	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
12	Tragedy	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
13	第2回復習テストと英文の種類別特徴について	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
14	Yankee	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
15	授業の総括と復習、and/or 授業進度の調節	講義と演習	該当部分の予習と復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英語の基礎力、特に英文法に不安があるなら、高校2年程度の英文法参考書や本学入学後に使用した英文法テキストを、もう一度、復習してください。英文の読解には基礎的な文法力が不可欠です。なお、前期の「初級英文講読」を受講していればテキストの英文の難易度や学び方の要領が同じなので、本科目の受講に際して助けになります。。			
テキスト	アイザック・アシモフ著、奥田隆一／浅田壽男編『英単語のロマンス1』(Words from History 1) 1993年、鷹書房弓プレス			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	アシモフに興味があれば、本学図書館や公立図書館を利用して、アシモフの他の作品を読んでみてください。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中にすべてを学ぼうとする心がけは尊敬に値しますが、現実には無理がありますし、第一、その場で辞書を引いたりしていると間に合いませんので、予習は不可欠です。最低限、該当箇所のわからない語句や忘れてしまった単語だけは、予習の一環として、必ず調べて授業に臨むべきです。あらかじめ予習をしておけば、授業中には、自分のわからない所を解決することに集中できます。上記の「予習復習の時間」を目安に、少なくとも辞書を引く作業だけは励行してください。			
達成度評価に関するコメント	今以上に英語が読解できるようになるには、日頃の地道な努力の積み重ねしかありません。達成度の評価という目に見える尺度と、実際の英語力という目に見えない尺度の間には、時にはズレも起こりえます。評価の向上を励みにして、日頃の努力を大切にしてください。			